

発表場所：(社)日本測量協会 投込み
発表日時：平成22年9月9日(木)
解禁日時：平成22年9月10日(金)0時

社団法人 日本測量協会

平成22年度「空間情報総括監理技術者」 資格認定試験(第六回)に25名が合格

社団法人日本測量協会(会長 ^{むらいしゅんじ}村井俊治)は、「空間情報総括監理技術者」資格認定の平成22年度合格者25名を発表します。

今年度で合格者は142名になります。

なお、平成19年度(第3回)に行われた空間情報総括監理技術者資格認定の筆記試験問題を日本測量協会ホームページに掲載します。

本試験の結果は別紙のとおりです。

○その他参考資料

- 資料1 「空間情報総括監理技術者」資格の創設について
- 資料2 「空間情報総括監理技術者」認定試験の実施について
- 資料3 「年度別合格者一覧」

○参考：ホームページ「空間情報総括監理技術者のページ」

<http://www.jsurvey.jp/gissv/gissv.htm>

(問い合わせ先)

社団法人 日本測量協会 〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-4
測量継続教育センター 空間情報技術教育部長 瀬戸島政博 電話 03-3815-5751
測量継続教育センター 教務部長 佐藤 春治 電話 03-5684-3355

参考

平成 22 年度「空間情報総括監理技術者」資格認定試験の結果

日本測量協会は、国土管理の業務を効果的に遂行するため、空間情報分野の高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、空間情報を利活用するための製品・品質仕様の策定、運用管理の立案を行うに十分な能力を有する技術者を認定する空間情報技術委員会（現委員長 東京大学大学院 教授 清水英範^{しみずえいはん}）を設置し平成 22 年度の「空間情報総括監理技術者」資格認定試験を実施しました。

平成22年度認定試験には67名の応募があり、書類審査の結果、63名が筆記試験を受験(当日1名欠席)しました。

筆記試験(7月24日に実施)に合格し、かつ、面接試験(9月4日に実施)にも合格した最終の合格者は25名であり、17年から21年の合格者と合せると142名になります。

合格者は登録を済ませると、国土交通省の資格基準にある測量上級主任技師の職種と同等クラスの技術者として、日本測量協会会長が認定します。

本資格の有効期間は5年で、資格の更新には、日本測量協会が実施する「測量技術者継続教育証明制度(測量CPD)」(平成22年9月6日現在の登録者数13,135人)の所定のCPDポイントの取得が条件となります。

日本測量協会は、空間情報技術に関する各種提案型入札業務の指名の際に、この「空間情報総括監理技術者」が活用されるよう関係機関に働きかけておりますが、これまでに、国土地理院の一般競争入札、財団法人日本建設情報総合センターの一般公募入札、地方公共団体の都市計画図作成業務委託や道路台帳整備業務において当該有資格者が管理技術者等として活用されております。

さらに19年に施行された地理空間情報活用推進基本法の関連業務に適合する資格として、各種の空間情報整備事業においても更なる活用が期待されています。

<筆記試験問題>

平成20年度から公表している空間情報総括監理技術者資格認定の筆記試験問題は、今年度は平成19年度(第3回)に行われた筆記試験問題を公表します。

別紙

結 果

◆ 合格者	25 名
◆ 合格率（対・応募者数）	37.3%
" （対・有受験資格者数）	40.3%

合格者氏名

受験番号	氏 名
10-001	松岡滋治
10-005	木村了三
10-009	森 文明
10-010	落合 修
10-015	平川泰之
10-016	花村嗣信
10-020	河野哲也
10-021	齊藤 誠
10-022	福岡正秀
10-024	片桐雅一
10-026	船田 征
10-030	洲濱智幸
10-034	木村一夫

受験番号	氏 名
10-035	新井瑞穂
10-040	鈴木 寛
10-043	六浦聖夫
10-047	白井正孝
10-048	下村博之
10-049	中村明彦
10-051	下境敏広
10-052	小野博之
10-055	大久保充
10-060	内海 巖
10-062	大津泰弘
10-066	村田叔充

1. 応募者

この内、

書類審査による受験資格の条件を満たした者	63 名
受験資格の条件を満たさなかった者	4 名

2. 筆記試験（7月24日実施）

受験者	63 名	
有効受験者	62 名	（棄権者 1 名）
合格者	25 名	

3. 面接試験（9月4日実施）

受験者	25 名
有効受験者	25 名
合格者	25 名

(平成 17 年 3 月 16 日)

「空間情報総括監理技術者」資格の創設について

社団法人 日本測量協会

社団法人日本測量協会は、従前の測量専門技術者認定に加え、新たに「空間情報総括監理技術者」資格を平成 17 年度から創設することにしました。

「空間情報総括監理技術者」資格は、測量の技術領域が空間位置と関係づけられた様々な情報を扱う技術へと発展し、また、利用される領域が国土から社会生活にいたるまでの広がりを見せていることを背景にして、空間情報の関連事業の企画・提案・監理の能力を有する技術者を社会的に認定するための制度です。「空間情報総括監理技術者」有資格者は、測量上級主任技師と同等クラスとして認定され、各種提案型入札業務の指名の際の評価要素として利用していただけるよう、今後、関係機関に働きかけていきます。

1. 資格の目的

地物の位置定義に関わる測量の技術領域が、高度情報化時代において大きな広がりを見せています。測量技術がこれからの社会の要請に応えるには、空間的広がりを持つ地球上の位置と、それに直接的または間接的に関連付けられる様々な情報を扱う「空間情報技術」として捉えることが必要になってきました。

また、空間情報は、データの作成過程を明確にするだけでは調達するのが困難なため、使われ方（要求仕様）と、調達しようとするデータの仕様と品質（製品仕様、品質仕様）を定義することが重要です。このことから、空間情報の仕様策定、取得、構築から、システム運用、データのライフサイクルにわたる情報管理など、広範囲な技術を駆使できるスーパーバイザが必要になっています。

このことを背景にして、国土管理に必要な様々な業務を効果的に遂行するため、空間情報分野に関する高度な専門知識と豊富な知見・経験を有し、かつ、空間情報を利活用する要求に対して、問題抽出・分析に基づく要求仕様の策定、製品・品質仕様の策定、運用管理の立案、様々な技術・技術者のコーディネート等の業務を行うに十分な能力を有する者を社会的に認定することを目的とします。

2. 求められる要件

空間情報総括監理技術者に求められる要件は、以下のとおりです。

① 要求仕様の策定ができること

行政が事業を行う場合に、現状の課題を発見し、課題の解決に空間情報の適用が有効か否かを判断し、発見された課題を詳しく分析・明確化することにより、業務に必要な空間情報の仕様と空間情報を利用する場合の効果を提示する能力を有すること

② 製品仕様・品質仕様の策定ができること

業務の課題解決に必要なデータやシステムの設計ができること

- ③ 運用管理を立案し、業務を遂行できること

構築された空間情報を継続的に利活用するために、システムとデータの維持管理方法を立案し、様々な技術・技術者をコーディネートして、適切な事業を行うことができること

3. 有資格者の処遇

有資格者は、測量上級主任技師と同等クラスの技術者として認定されます。

具体的には、

- ① 財団法人日本建設情報総合センター（JACIC）が発注する提案型入札業務の指名参加の条件として利用していただける予定です。

今後、

- ① 国土地理院をはじめ、国土交通本省、地方整備局、地方公共団体、公益法人等が計画する空間情報関連事業の提案型入札業務の指名の際の評価要素として利用されることが期待できます。
- ② さらに、国土交通省以外の省庁が計画する空間情報関連事業の提案型入札業務の指名の際の評価要素として利用されるよう働きかけます。

4. 受験資格

受験資格は、次のすべての条件を満たすものとします。

- ① 測量士の資格を有すること
- ② 技術士の資格または博士の称号、または、これらと同等の能力を有すること
- ③ 空間情報関連業務に15年以上従事し、かつ、当該業務の責任者（原則として主任技術者）を2回以上経験していること

5. 認定試験

筆記試験及び面接試験を行い、以下の能力を判定します。

- ① 空間情報技術に関連する知識および経験を有しているか
- ② 空間情報技術の応用力・構想力・提案力・説得力・監理力を有しているか
- ③ 業務を遂行できる人格・責任感・リーダーシップを有しているか

受験資格、願書配布、願書受付、受験料等の詳細内容が決まり次第、機関誌『測量』および当協会ホームページ(<http://www.jsurvey.jp/>)でお知らせします。

[問い合わせ先]

問い合わせはEメールにてお願いします（geoinfor@jsurvey.jp）

担当 社団法人日本測量協会 測量継続教育センター 空間情報技術教育部
教務部

資料 2

空間情報総括監理技術者資格認定試験の実施について

社団法人日本測量協会の定款第8条に定める事業のうち、空間情報総括監理技術者の資格認定試験を、次のとおり実施します。

平成22年4月1日

社団法人日本測量協会 会長 村井俊治

1. 試験の実施日時

筆記試験 平成22年7月24日（土）
午後1時30分から午後4時30分まで
面接試験 平成22年9月4日（土） 時間は筆記試験合格者に通知

2. 試験の場所 東京都（筆記・面接とも）

3. 受験願書の受付期間

平成22年6月1日（火）から平成22年6月30日（水）まで
午前9時から午後5時まで（ただし、土日休日を除く）

4. 受験案内の入手方法及び受験願書の提出先

受験案内の入手方法 協会のホームページからダウンロード
受験願書の提出先 （社）日本測量協会 測量継続教育センター
空間情報技術教育部

5. 合格発表

筆記試験 平成22年8月27日（金）
面接試験 平成22年9月10日（金）
協会のホームページに掲載

6. その他

受験についての詳細は、協会のホームページに掲載していますので、ご覧下さい。

【問い合わせ先】 問い合わせはEメールにてお願いします（geoinfor@jsurvey.jp）

（社）日本測量協会 測量継続教育センター 空間情報技術教育部または教務部

〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-4